

市制施行10周年記念

豊科近代美術館 春の特別展

TEL 73・5638 FAX 73・6320
豊科近代美術館

藤井千秋展

美術館はオトギノクニ

藤井千秋は昭和20年代、雑誌「少女の友」の人気挿絵作家として活躍し、その後、小学館のアンデルセンの名作「にんぎょひめ」などの絵本の挿絵を多数手掛けました。

●日時 4月25日(土)～6月7日(日) 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

●休館日 毎週月曜日(5月4日を除く)、5月7日(木)

●入館料 一般700円(600円)／大学生・高校生500円(400円)

※カッコ内は20人以上の団体に適用

【関連イベント】

粘土ワークショップ

バラの小物入れ、または人形ブローチを作りましょう。

●日時 5月14日(木)、24日(日) 午前10時30分～正午 バラの小物入れ、午後1時30分～3時 人形ブローチ

●講師 降旗香代子さん

●場所 美術館多目的ホール

市制施行10周年記念

「あづみの新進音楽家公開オーディション」出場者募集

TEL 81・3111 FAX 82・0966
図書館交流課図書館交流担当

市制施行10周年を記念して、「あづみの新進音楽家公開オーディション」に名称を改め、一般の部、ジュニアの部を設け、出場者を募集します。一般の部は、12月と1月に開催するコンサート、ジュニアの部は、3月に開催する音楽会の出演者を選考します。

●日時 7月25日(土) 午前9時～ ※開始時間は、変更する場合もあります。

●会場 穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホール

募集対象

一般の部 器楽(ピアノ・フルート・ヴァイオリン等)、声楽
ジュニアの部 器楽(ピアノ・フルート・ヴァイオリン等)
※声楽は、対象外

参加資格

一般の部 次のいずれかに該当すること

▽市内に在住、通勤、通学の人
▽松本広域連合構成市町村内、大町市・池田町・松川村に在住の人

●参加費 1000円(入館券1枚プレゼント)

●定員 各10人(先着順)

●申し込み 5月1日(金)から電話でお申し込みください。

ロマンドール展「春風につて」

藤井千秋展にちなんで、降旗香代子さんの作品を展示します。

●会期 5月2日(土)～31日(日)

●会場 美術館オリエンテーションルーム

●観覧料 無料

学芸員によるギャラリー・トーク

●日時 会期中の日曜日 午後2時から約30分程度

自由参加型ワークショップ

絵を切り抜いて、貼って、美術館をオトギノクニにしよう!

●日時 会期中随時

《美術館・博物館》市内在住の満70歳以上は入館無料

文化課文化振興係
TEL 62・3090 FAX 62・3525

4月1日から、中学生以下に加えて、市内在住の満70歳以上の入館も無料となりました。対象施設は次のとおりです。(受付で証明するものをご提示ください)。

豊科郷土博物館、豊科近代美術館、

田淵行男記念館、高橋節郎記念美術館、穂高郷土資料館、白井吉見文学館、貞享義民記念館、飯沼飛行士記念館、穂高陶芸会館

あづみ野ガラス工房

ゴールデンウィーク特別体験

あづみ野ガラス工房
TEL FAX 72・8030

安曇野の春風を感じながら、工房前のテントで、ガラス体験をしてみませんか?

●日時 4月25日(土)～5月6日(水) 午前の部 午前9時～

午後0時30分 午後の部 午後1時30分～4時

●場所 あづみ野ガラス工房屋外テント

●体験内容 《リユーター体験》グラス、ペーパーウエイト等から一つを選び、リユーターでガラスに絵柄を彫ります。《小物作り体験》ガラスの小瓶、フォトフレーム、バレッタ等から一つを選び、当工房オリジナルの色ガラスチップを貼り合わせ作品を制作します。

●参加費 《リユーター体験》1360円《小物作り体験》1620円

●申し込み 不要

レセプションニスト(接遇係)

有償ボランティア募集

交流学习センター「みらい」「きぼう」等で行われる自主企画事業の際、来場者並びに出演者への応対を担当するレセプションニスト(接遇係)を公募します。

●内容 チケットのもぎり、席への誘導、アンケートの配布と回収、花束贈呈、公演中の安全管理等

●参加条件 ①20歳以上の人②土日・祝日に年4～5回以上、お手伝いできる人③市内もしくは、近隣に在住の人

●申し込み 申し込みは、申込書に必要事項を記入し、持参、郵送、電子メール、ファックスのいずれかによって応募してください。申込書は、窓口あるいは市ホームページから入手できます。

●募集期間 5月19日(火) 必着

●選考 書類選考により、教育委員会にて決定します。選考の結果は、5月末日までに、図書館交流課から申込者全員に通知します。

●謝礼 別に定める額をお支払いします。



切り取り

豊科近代美術館 春の特別展 安曇野市制施行10周年
「藤井千秋展～美術館はオトギノクニ～」
安曇野市民招待券
(本券にて大人1人まで無料)
4月25日(土)～6月7日(日)
●開館時間: 午前9時～午後5時(受付は午後4時30分まで)
●休館日: 4月27日(月)、5月7日(木)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、6月1日(月)
※中学生以下は、保護者同伴で入館いただけます。
WEB版ではご利用できません



再発見! 安曇野の文化

その39

文化課博物館係

TEL 62・3090 FAX 62・3525

有明神社の
裕明門と手水舎

ありあけやましんじや

みやしろ

穂高宮城にある有明神社は、有明山を信仰する山岳信仰神社です。

明治35年に造られた有明神社の裕明門と手水舎は市指定有形文化財になっており、施された彫刻は見どころの一つです。裕明門は日光東照宮の陽明門に似せて造ったといわれています。彩色がされていない落ち着いた雰囲気ですが、眠猫や十二支などの豪華な彫刻がみられます。彫刻は立川流建築の清水虎吉の作です。一方の手水舎は山口権之正によって造られ、天井にはケヤキの一枚板に見事な龍が彫られています。

また、参道や境内は桜の木が多く、名所になっています。少し遅い山の春が訪れる季節には、参詣者をはじめ多くの人でにぎわいます。



有明神社手水舎 (穂高有明)